

# さわやか通信

令和7年12月1日発行

No.33

## 株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成12年12月  
代表者 代表取締役 山城裕美  
事業内容 福祉事業全般 筑紫地区を中心に  
グループホーム 小規模多機能型居宅  
介護施設の運営を主たる事業としている  
基本理念 住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら  
せる老後をお手伝いします  
基本方針 利用者おひとりおひとり、その人らしい  
生活に日々「寄りそう」

あふがままに  
楽しく  
ゆたかと

さわやかテラス大野城中央

利用者Yさん



絵 下島 美穂



## 【山城代表就任パーティー報告】

10月に、株式会社ウエルフェアネット山城裕美代表就任パーティーを行いました。「さわやかテラス・さわやか憩いの家」をかりつけ医として長年支えてくださっている、横溝先生、大西先生をはじめ、銀行・労務関係・教育・土地のオーナー・株主の皆様が集まって頂きました。

ご挨拶頂いた、代表の親戚で元自民党副総裁の山崎拓さんから、代表の叔父にあたること、「介護保険制度がはじまって平山会長が築き上げてこられた施設においてこの度代表に抜擢され、親族を代表して誇りに思う」という話をいただきました。認知症介護研究・研修東京センターの研修部長をされている中村考一さんから、「認知症基本法が施行され、認知症とともに生きておられる方の尊厳を保持するとされている中で、さわやかテラス・さわやか憩いの家でのケアが求められると感じている。」とのお話をいただきました。

和やかな会の終わりに、さわやかテラス元家族会会長の八尋一男さんから、「母親が最期までさわやかテラスで過ごせたのも、家訓に沿ってケアをして頂いたおかげです。皆様には是非新しい代表を応援いただきたい」と話をいただきました。

これからも感謝の気持ちと家訓を継承し発展させていきたいと思えます。



## 【鍵をかけるケアの本は今】



「鍵をかけるケア」を発売して8年が経ちました。そもそも、この本を制作するにあたり、過去の出来事で終わる本ではなく、スタッフ教育にも役に立つ本になるように考えて手がけました。新任スタッフ研修プログラムの中で入社して8か月経つ頃に本を読んで感想文を書いてもらうようにしています。おもしろいことにスタッフひとりひとり気になったトピックスが違います。「平山さんや山城さんの人柄が分かった」と書く人もいれば「なぜ冷蔵庫が空なのか意味が分かった」という『なぜ』がわかったスタッフもいます。入居者の方のエピソードで「自分も体験した感情があった」と書く人もいます。1冊の本ですが、繰り返し読めて、迷ったときは読み返し初心に戻ることもできる万能な本だと感じています。

あるご家族からお手紙をいただいたことがあります。近所の人に介護で悩んでいる方がいたので「これ読んでみたら？」と本を貸した所、その方が涙を流され「気持ちがいっぱいになったよ。こういう気持ちでいればいいんだと思った。」と感謝されましたよ。と書かれていました。本は一人歩きますが、誰かのためにになったのであればよかったと思いました。

家訓「あるがままに 楽しく ゆつたり」とが軸となり、スタッフがあるがままとは何か、楽しくとはどういうことかゆつたりの意味は何かと考えるながら日々のケアに取り組んでいます。代表がいつも話します。「人」を考えつづけ大切にすること。学びつづけること。本

にそうだと思います。

認知症基本法が施行され何か私たちの生活に影響があり変わったのでしょうか。人材不足・物価高騰・温暖化など取り組むべきことが多くある上に、介護業界を長年共に頑張ってきた仲間の事業所が廃業に追い込まれています。厳しい状況が目前にきていますが、この状況であっても、認知症ケアの学びをつづけ、さわやかテラス・さわやか憩いの家がありつづける必要があると感じます。入居者の方からいただいた家訓を体現していくことがしいては認知症基本法にある、人権と尊厳に値するのだと感じます。

時々入居者の方から言われます。「あんたもいずれ分かるよ。まだ若いけよか」と思いうるけれど、こげん年寄りになつたらすぐに忘れてしまつてつもらんごとなつたと思うとよ。この年にならんと分からん。「そうばつてね、できることをしとかなつたら。なんでん持つてきなさい。」と言いながら手際の悪いスタッフを教育していただいています。

ありがたいことです。

わたくし先日、会議の時間を間違えました。自らの老いもみつめつつ「鍵をかけるケア」の本が時々背中を押してくれているように思います。

(筑紫野統括執行役員 田中 順子)



代表就任パーティーを彩った祝花

## 【Fさんと過ごした13年】

入居当時は、食材の買い物に毎日のように行かれていました。新聞を読まれたり、日記をつけられたりと、以前からの習慣を大事にされ、1日のスケジュールを決めて過ごされる方でした。几帳面な性格の方でもあり、自身での決まり事や、生活習慣が相反する方とは、時々衝突する場面もありました。パジャマ姿の方には、「そんな恰好で自分の部屋じゃないの」と着替えを促され、「ここは家だから自由でいいのよ」と言い返されると「共同生活なんだからルールを守らない」と負けじと言い返されてありました。「おひとりお一人の思いを大切にすること」をFさんを通して、学ばせて頂いたように感じます。

ある日「家では晩酌していましたよ」と言われ、真面目なFさんから「晩酌」という言葉を聞いてギャップに嬉しさを感じました。ビールが大好きで夕食に居酒屋に行つてビールで乾杯したこともありました。夏の暑い時で、冷えたビールは格別でしたよね。また、植物観賞が大好きで、「この色は私が一番好きな色です。」とピンク色の花を見ると満面の笑みで過ごされてありました。昨年の夏頃には体調が悪化し透析や入院を検討されましたが、最期は慣れ親しんださわやかテラスでと、ご本人ご家族が選んでくれました。最期までお好きなお花とスタッフが見守る中、眠るように息を引き取られました。享年90歳。約13年4ヶ月をさわやかテラスで過ごされました。多くを学ばせていただきありがとうございます。

(さわやかテラス大野城中央 吉田 千香)



## 【新たな仲間】

さわやかテラスで働き始めてから一か月がたちました。最初は何もわからなくて不安でしたが、周りの皆さんがやさしく教えてくれたので、少しずつ仕事に慣れてきました。仕事は大変な事もありますが、皆と一緒に頑張るのはとても楽しいです。入居者の方がやさしくしてくれて、一緒に過ごす時間が楽しいです。日本での生活も少しずつ慣れて来て、毎日が勉強になっていきます。これからも笑顔で頑張りたいと思います。

さわやかテラス大野城中央

チヨー イ



皆さん、こんにちは。私はミヤンマーから来たチヨグゲです。日本に来る前は、言葉や仕事が心配でした。でも、日本の人はやさしくて、街も綺麗で、今は楽しく暮らしています。仕事で間違えることもありましたが、先輩がやさしく教えてくれます。私は17歳から色々な仕事をしましたが、介護の仕事が一番好きです。皆さんと話すのが楽しく、毎日勉強になります。これからも頑張ります。よろしくお願いします。

さわやかテラス大野城

チヨグゲ



私はミヤンマーから参りました、エーと申します。さわやかテラス筑紫野で働く機会を頂きまして誠にありがとうございます。日本語がまだ上手に話せないため最初はとても心配して参りました。入居者の方やスタッフの皆さんが温かい笑顔で迎えて下さりとてもうれしく、幸せな気持ちになりました。また何でも親切に教えてくださり、優しいスタッフの皆さまと一緒に働くことが出来嬉しく思います。入居者の方もいつも温かくやさしく接して下さるお陰でこれからも毎日学びながら入居者の方が幸せに過ごせるように精一杯頑張つて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

さわやかテラス筑紫野

エー ニン ウエイ



私はミヤンマーからきたズンブイントーです。仕事を始めて一か月が経ちました。最初のころは、分からないことがおおく大変でしたが、少しずつ仕事に慣れてきました。毎日新しい経験で学ぶことがたくさんあります。先輩や同僚のみなさんが優しく教えてくれるおかげで、楽しく頑張れています。まだまだ成長途中ですが、これからも笑顔で前向きに頑張つて行きたいです。

さわやかテラス二日市

ズン ブイン トー



## 【でいさあびすはつびい見学】

8月22日、23日の2日間、福岡県グループホーム協議会の高知県研修に参加し、高知県香南市にある、一般財団法人セカンド・ストーリー『でいさあびすはつびい』の見学させて頂きました。代表で当事者でもある、山中しのぶさんの話を聞きました。山中さんが若年性認知症と診断を受けてから、コンビニでお金を払わずにお店の中でお菓子を食べてしまったことがあったそうです。一見認知症の症状でと思つてしまいましたが、山中さんは「診断のショックで自暴自棄になりやつてしまったこと」であり、認知症だからではない。認知症だからと決めつけられる事の中には精神的な要因なども多いことを分かつてもらいたい。」と話されていたことが印象的でした。

山中さんは「高知家希望大使」もされていて県内外で様々な講演をされています。その中で「福岡県にも若年性認知症の当事者の方はいるが、研修や講演会で話をするのは県外のいつも同じ人であることが多い、その県の人が自分の思いや経験を話すことが出来る場所を作ってもらいたい。」と話されていました。短い時間ではありましたが、山中さんのお考えを聞き多くの事を学ぶことが出来ました。

(さわやかテラス春日 平野 正史)



## 【第32回日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会INなにわ】

10月11日・12日に「日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会INなにわ」が開催されました。今回のテーマは「地域のつながりで大事なもんってなんやろ?」にわで、本音で語ろうや」でした。

2040年問題を目の前にして、2027年に医療分野の新地域医療構想の話や一人暮らしの高齢者が増え、加えて身寄りが少ない認知症高齢者が増える課題を様々な視点から意見が交わされていました。

そのなかで、意思を尊重されることの大切さを在宅医を中心にディスカッションがあり大変勉強になりました。また大阪と兵庫の医師や看護師、ケアマネジャーやヘルパーで構成される、劇団「ザイタク」ピンコロ劇場『延命治療の非開始・中止、そして、安心して楽に死ぬってできるの?』の上映会もあり安楽死について考えることができました。次回は令和8年8月22日に姫路で開催されます。

(さわやか憩いの家二日市 大塚 裕輔)



## 【CRJ】

### (ケアレスキュージャパン)

平成29年に熊本県にある「誠心会」の事業所とCRJ協定を結びました。協定締結時の考えである「大規模災害時に介護の専門職として、認知症の方に特化した専門的な支援」を目指し、大規模災害に備えてきました。

今まで2事業所で定期的に交換研修を行ってきましたが、この度、大規模災害時の支援体制を考えCRJ協定に山口県宇部市に法人がある「ミセスヘルパー」の事業所が賛同して下さり、10月6日に事業所見学と調印式を執り行うことが出来ました。

東日本大震災の時に、2004年から取り組んでいた防災教育において「想定にとらわれない」「状況下において最善を尽くす」「先導者(率先避難者)になる」の3原則を震災時に実践されたことを教訓とし、災害時に備えてこれからは3事業所間で関係性を深めながらこのCRJ協定も賛同の輪を広げ取り組んでいきたいと思います。(さわやかテラス大野城中央 原田 寛史)

左から 中央 右  
誠心会 ミセスヘルパー ウェルフェアネット





## —あの日・あの時—

### コラム

私の介護の始まりは、主人の母でした。義父や主人・私が介護するのも難しくなり、入所となりました。母は今思えばレビー小体型認知症であつたと思いますが、色々なものが見えて他人を怖がるため、私が毎日食事のお手伝いに通っていました。母の辛い思いも知り、亡くなった後にこの経験を活かしたいと、介護の仕事を探しました。ネット上でさわやか憩いの家を知り、運営方針に家訓「あるがままに 楽しく ゆつたり」と書かれていました。母もこんな施設だったら、ゆつくり過ごせたかもしれないと思い、応募して働けることになりました。でも、介護の現場は忙しく、のんびり屋の私には失敗も多くて毎日、今日でやめようと思っていました。先輩に相談すると「さばけん」と。利用者の方に共感して寄りそえますらそれでいいのよ。大丈夫」と言ってくださり、今に至っております。一人暮らしの方が「淋しいとよく」と泣かれると手を握って一緒に泣いたり、若年性認知症に方が外に飛び出して行かれるのを追いかけて、一緒に空を見上げたりにしているうちに、私も憩いの家に居場所が出来たように感じました。

コロナ禍前は、利用者の方たちと一緒に歌うことも多く、所属するコーラスグループで毎年コン

サートさせて頂くことや、ご自宅でも期を迎えられる前日に、耳元でその方の十八番だった「お富さん」を歌うと、目を閉じたまま頷いてくださったことも大切な思い出です。今年で14年目になりますが、今も私が慌てていると、「急がんでよか」と許していただいたり、「ありがとうね」との言葉に支えられて今があると感謝しています。そして、もうしばらく利用者の方やスタッフと一緒に憩いの家で過ごしたいと思っております。



さわやか憩いの家二日市  
篠田 京子

## 【RUN伴おのじよう 2025】

11月1日までかフェスティバルに合わせて、大野城市のRUN伴が開催されました。まどかびあをスタートし北コミュニティセンターまで、おそろいのオレンジのシャツを着て町を練り歩きました。認知症にやさしいまちを目指し、地域でつながり社会が変わる力になればと思います。



(さわやか憩いの家大野城中央 田中 しのか)

## 編集後記



今年、大阪・関西万博が開催され、かつて福岡市で行われた「よかトピア」が懐かしく思い出されました。36年前、前職の新人研修で百道の寮に約2ヶ月滞在し、同僚たちと学び、語らい、時に遊びながら過ごした日々。会場にも何度も足を運び、胸をふくらませていたあの頃の情熱と期待は、今も鮮やかに記憶に残っています。先日、その仲間たちと久しぶりに同窓会を開きました。ポケベルや携帯電話が普及していなかったあの時代、連絡手段といえば固定電話や手紙が中心で、手紙を受け取るたびに、封を開ける前から筆跡で送り主がわかったものです。待ち合わせも公衆電話から連絡、駅の黒板にメモを残すなど、今では想像もつかないことばかりだったと昔話に花が咲きました。今では技術が進化し、便利になった一方で、あの頃の手触りのあるコミュニケーションが懐かしく感じられます。

時代が移り変わっても、あの頃に生まれた絆は変わらない。そんなことをあらためて感じた、心温まるひとときとなりました。

一年の締めくくりに、皆さまにも穏やかで温かな時間がおとずれますように。

良いお年をお迎えください。

(広報担当 田中順子・紺田光二  
岡本 智子  
種子島こなつ・東桃子・岡本智子)

## 検索してね！

検索 さわやかテラス



相談会や講座開催に積極的に協力  
認知症サポーター養成講座  
社外実習生の受け入れ  
公民館活動との連携  
災害広域相互協定の推進

## ウェルフェアネット令和7年度の活動

社外研修・セミナー参加  
日本認知症ケア学会  
日本ホスピス・在宅ケア研究会  
台湾研修  
日本セラピューティック・ケア協会  
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会  
九州地区での各種研修  
他事業所との合同研修

各団体との関わり  
福岡県高齢者グループホーム協議会  
筑紫野地区やさしい福祉結の会  
日本介護福祉士会  
福岡県介護福祉士会  
筑紫地区小規模多機能連絡協議会  
大牟田市介護サービス事業者協議会

地域との関わり  
各地域の自治会・育成会・老人会など  
地域の保育園・小学校  
民生委員・福祉委員  
各地区の地域包括支援センター  
筑紫野市介護を考える家族の会  
春日市介護を考える家族の会「ひだまりの会」

## 筑紫野市

### グループホーム

## さわやかテラス 二日市

〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号  
TEL092-918-0045 FAX092-918-0255

### 小規模多機能型居宅介護施設

## さわやか憩いの家 二日市

〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号  
TEL092-918-3830 FAX092-918-0255

### グループホーム

## さわやかテラス 筑紫野

〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1  
TEL092-917-7011 FAX092-917-7022

## 大野城市

### グループホーム

## さわやかテラス 大野城

〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5番29号  
TEL092-513-7511 FAX092-513-7512

### グループホーム

## さわやかテラス 大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号  
TEL092-501-0352 FAX092-501-0323

### 小規模多機能型居宅介護施設

## さわやか憩いの家 大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号  
TEL092-501-0322 FAX092-501-0323

## 春日市

### グループホーム

## さわやかテラス 春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地  
TEL092-588-3307 FAX092-588-3308

### 小規模多機能型居宅介護施設

## さわやか憩いの家 春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地  
TEL092-588-3531 FAX092-588-3308

## 株式会社ウェルフェアネット本社

〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番450  
TEL092-582-0757 FAX092-582-0847